



取引先とともに

以下の基本方針の下に、公平かつ公正な購買活動を進めています。購買規定総則を制定し、公正取引の徹底を図るとともに、購買部門の担当者には下請法の講習受講を義務付け、法令遵守を徹底しています。またホームページに資材購買の基本方針を掲載、取引先への周知とお願いを図っています。

今後、取引先に対する実態の把握、評価、定期的な監査などさらなる取り組みを推進して参ります。

資材購買の基本方針

1. 公平・公正

三菱製紙は、購買先との取引において良識と誠実さをもって接し、公平かつ公正にあつきます。

2. 最適な購入品の調達

原材料・副資材・燃料・機械等全ての購入品において品質・コスト・納期・技術開発力・安定供給・企業姿勢(法令遵守、環境への配慮など)を総合的に判断し最も適した取引先を決定します。とくに海外との取引においては、相手先が生物多様性、児童労働の防止などに十分配慮していることを確認のうえ、取引先を決定します。

3. パートナーシップ

全ての購買先は、競争力のある製品を提供するためのパートナーとの認識のもと、相互に繁栄を図る取引関係の確立を目指しております。

活動内容

1. 購買部門担当者への下請法講習受講
2. 購買の基本方針の策定
3. 購買規定総則の見直し

株主とともに

情報開示とコミュニケーション

三菱製紙グループの企業価値を適正に評価していただくため、株主・投資家の皆様に対するIR活動(Investor Relations; 投資家広報)を継続的に行なっています。活動の主な内容は、機関投資家や証券アナリストの方々へ、中間決算と期末決算発表後に開催する決算説明会と、経営計画策定時の説明会などの実施です。また、個人株主の方々や報道機関からの問い合わせにも対応しております。

2006年11月開催の中間決算説明会では、約70名の機関投資家・証券アナリストの方々が出席されました。この説明会には、社長・担当役員などが出席し、業績の解説及び利益の増減分析、経営全般などについて説明しました。また、海外の機関投資家に対しても、英文アニュアルレポートの発行や取材対応を行っております。

さらに、フェアディスクロージャーの観点から、上記の決算説明会・経営説明会の資料はもとより、証券取引所への適時開示情報、プレスリリース、新製品等について、発表と同時にホームページへ掲載しております。



中間決算説明会